

植物データベース“Plants in UAE”作成雑記

過去、UAEの植物の植物分類体系にのっとった検索はあまり行われていませんでした。UAE大学でも海洋・砂漠環境研究所付属の植物園からまとまった形でUAEの植物図鑑作成の目的がやっとたつた状況です。幸い、現在の業務の一つに耐塩性・耐乾性植物の導入及び検索という大きなテーマがありましたので、我々サイドでもUAEで見られる植物を片っ端からできる限り網羅的にまとめてみようということで、まず野外調査を1994年度の後半から実施し始めました。

これと並行して調査結果をまとめるにあたって、エンドユーザーがデータを容易にその都度追加更新していけるような形を勘案して、データベースプログラムであるファイルメーカープロ（出来ればスタンドアローンのものが望ましいのですが・・・）を使って多くの人に使ってもらえるような植物図鑑的なものをつくることになりました。

とは言え、ここUAEはご存知の通り年間降雨量が100～150mm以下の極乾燥地帯にあり、植物の写真、中でも草本を撮影するには冷涼期（11～2月）にある程度の雨が降らねばお手上げでした。非常に幸運なことに96年の初頭から3月半ばまでこの国では記録的とも言うべき大雨に恵まれ、山間部から礫漠、砂漠に至るまで色とりどりの草本の写真を撮影することができました。現時点で、2門、3綱、25目、39科の158種が収録されています。最終的には180種内外になる子定です。作業途中で、生育地の外観や、利用可能な近辺の衛星画像、大まかな植生図やあれこれ必要だなということでこれらもブラウザできるようにしてあります。

データベースへの植物の画像取り込みにはニコンのスライドスキャナーを用い、フォトタッチにはフォトショップ Ver.3を使用しましたが、取り込み解像度を180dpiにすることで1画像当たり400KB強に抑えました。それでも最終的には、200MB前後のサイズのデータベースになりそうです。保存には光磁気ディスクを使用していますが、230MBのディスクでなんとか納まるのではないかと考えています。内容・操作性等々に関しては、今後関係各位のご批判をあおぎつつ、改良していきたいと思います。またこれとは別に、UAEの大規模植林事業で造成された植林地の生育調査結果についても同じようにデータベース化しようと考えています。そこでは、植林地所在地の特性（先のデータベースでの生育地分類と整合性を持ったもの）、灌漑水水質や土壤塩分度といった環境要因と、根本直径、樹冠、樹高等生育に関する変数及び樹齢との関係が視覚的に捉えられるものにできたらなあと考えています。仮称「Plants in UAE」のほうはたたき台状態ですが、ご関心のおありの方は国際耕種までお問い合わせ下さい。

